

Hiroshima Symphony Orchestra
The Special Subscription Concert

広島交響楽団

特別定期演奏会

平和音楽大使
マルタ・アルゲリッチを迎えて

©Adriano Heitman

Martha Argerich

ピアノ: マルタ・アルゲリッチ

ウクライナに捧げる、祈りのアダージョ &
プロコフィエフのコンチェルト

Program

アレクサンドル・ゴノボリン
弦楽のためのアダージョ〈日本初演〉
Aleksandr Gonobolin: Adagio for Strings <Japan Premiere>

マーラー
交響曲第10番嬰へ長調「アダージョ」
Mahler: Symphony No.10 in F-sharp major "Adagio"

プロコフィエフ
ピアノ協奏曲第3番ハ長調作品26
Prokofiev: Piano Concerto No.3 in C major Op.26

2024

5.12



15:00開演
(14:00開場)

広島文化学園HBGホール

Sunday May 12, 2024 Start 15:00[Open 14:00]

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

Christian Arming

指揮: クリスティアン・アルミンク

©Shumpei Ohsugi

■チケット料金

S席11,000円・A席8,800円(学生4,000円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

■チケット発売日

2024年2月5日(月)

■プレイガイド

ローソンチケット(Lコード:62663)

チケットぴあ(Pコード:260-212)、広響事務局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

Dear friends,

I am honored to send my words as Peace and Music Ambassador of Hiroshima Symphony Orchestra.

I had the pleasure of playing with HSO in 2015 in Hiroshima and Tokyo, and in 2019 in Warsaw, although more planned concerts had to be cancelled due to Covid-19.

I am more than happy to play again with HSO in May 2024 with my favorite conductor Christian Arming.

I congratulate him on becoming HSO's music director.

I believe HSO will create more artistic achievements under Christian's leadership.

I also believe HSO's motto Music for Peace and my motto Music against Crime should spread more over the world.

Love,

Martha Argerich



親愛なる皆様へ

広島交響楽団の「平和音楽大使」としてご挨拶できることを光栄に思います。

2015年に広島と東京で、2019年にはワルシャワで広響の皆さんと共演することができ嬉しく思っていたのですが、Covid-19の影響により、予定していた公演を中止せざるを得ないものもありました。

2024年5月に、私が最も好きな指揮者クリスティアン・アルミンクと広響で再び共演できることを何よりも嬉しく思います。

また、彼が広響の音楽監督に就任したことを心より祝福します。

クリスティアンのリーダーシップのもとで、より芸術的な成果を生み出すと確信しています。

広響のモットーである「Music for Peace」と私のモットーである「Music against Crime」が今以上に世界に広まることを信じています。

愛をこめて

広島交響楽団 平和音楽大使

マルタ・アルゲリッチ

指揮：クリスティアン・アルミンク Christian Arming, conductor

ウィーン生まれ。レオポルト・ハーガーや小澤征爾のもとで研鑽を積み、ボストン響や新日本フィルにデビュー。ヤナーチェク・フィルの首席指揮者、ルツェルン歌劇場およびルツェルン響の音楽監督などを経て、2003～13年に新日本フィル、2011～19年にベルギー王立リエージュ・フィルの音楽監督として活躍。2017年から広島交響楽団の首席客演指揮者を務め、2024年からは同団の音楽監督に就任予定。

これまでにチェコ・フィル、ドレスデン・シュターツカペレ、フランクフルト放送響、ウィーン響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、トゥールーズ・キャピトル国立管、スイス・ロマン管、ボストン響、シンシナティ響、N響などに招かれ、オペラではフランクフルトやストラスブールの歌劇場、新日本フィルなどで《ドン・ジョヴァンニ》《サロメ》《ホフマン物語》《フィレンツェの悲劇》などを指揮している。2019年には小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトで小澤征爾と共に《カルメン》全4公演を指揮した。

レコーディングも数多く、ヤナーチェク・フィルとのヤナーチェク、シュベルト作品、新日本フィルとのブラームス／交響曲第1番、マーラー／交響曲第3番および第5番、リエージュ・フィルとのフランク／交響曲二短調などをリリース。また、シルバ・オクテット、リエージュ・フィルとの共演によるディスクがドイツ・グラモフォンからリリースされた。

ピアノ：マルタ・アルゲリッチ Martha Argerich, piano

アルゼンチンのブエノスアイレス出身。

1957年のプゾーニおよびジュネーヴの国際コンクール、そして1965年のショパン国際コンクールで優勝。以後ヨーロッパ、日本、アメリカにて世界一流のオーケストラや指揮者、音楽祭などから頻りに招かれているほか、室内楽にも取り組んでいる。1996年、フランス政府より芸術文化勲章オフィシエを受賞、1997年にはローマ・サンタ・チェチーリア協会に任命される。

2001年、アルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリ国際賞が贈られた。日本では「高松宮殿下記念世界文化賞」(2005年)および旭日中綬章(2016年)アメリカでは「ケネディ・センター名誉賞」(2016年)、イタリア政府よりコメンタトーレ勲章(2018年)を受章している。2015年広島交響楽団の「平和音楽大使」に就任。「ひろしま・ピース・プライズ(ひろしま音楽平和賞)」を受賞(2015)、また広島市より「ひろしま文化大使」に任命された(任期：2019年～2023年)。1998年より「別府アルゲリッチ音楽祭」総監督、1999年、「マルタ・アルゲリッチ国際ピアノコンクール」をブエノスアイレスで創設。2002年6月、スイスのルガーノで「マルタ・アルゲリッチ プロジェクト」を開催、2018年よりハンブルグで新しくアルゲリッチ・フェスティバルを始めた。